

【小学校高学年の部・優秀賞】

命だつて泣いている

西原町立坂田小学校 六年

比嘉 みる

キラキラかがやく太陽の下で
私は遊ぶことも 外に出ることもこわい
空から火の玉が 雨のようにふりそう
目の前に広がる大地が 姿が消えそうで

生まれる希望が 大きな命が
あかりを消してゆく ポツン ポツンと

ガマの下を流れる水が
かけがえのない 水に思えた
となりにいるあなたが
かけがえのない 家族に思えた
息をしていることが
感情を持てることが
すべてが すばらしく思えた

マリアにかかつて たおれていく
てっぽうのたまにうたれて 死んでいく
天皇のために かけがえのない命を失う
人と殺し合うことが すばらしいのか
死んでいくことが うれしかったのか

平和 平和 それって何だろう？

戦争をしないことが 平和なのか？
美しい自然が残っているのが
平和なのか？

今も残る基地

点々と大きくし 基地をつくっていく

ゴォー ゴォーという大きな音をたてて
頭の上を通りこしていく
耳の中に ホワン ホワン
とこだまのように残る
そしてよみがえる

頭の回りに ひさんな姿が写る
むねがいつぱいになる

平和をちかつたんじゃないのか
忘れてはならない 沖繩で起こった戦争

平和な世の中にしたんじゃないのか
それなのに 世界中の人々

まだ 人を殺し 自然や環境をはかいし
のんきな顔で いられるんですか

平和の礎には 毎年名前が増えていく
「助けて」とさけんでいるにちがいない
助けてあげるには どうしたらいい

それは 誰にも分からない
でも 戦争はするなど言い合い
自然や物を大切にすれば

いつかは答えが見えてくる
見えてくるまで 私はうったえる

未来は過去と結びつけないといけない

話をするのが すばらしい
遊べることが すばらしい
食事をすることが すばらしい
生きていることが すばらしい
小さな 希望が 大きな命に
そんな世の中を
作っていいんじゃないか